

<試験の区分(物理)>

福岡管区气象台 佐賀地方气象台 令和5年度採用



【1日の仕事の流れ】

8:30 出勤・引継ぎ

出勤時に観測機器の状態の確認をします。8時30分からは、昨夜から今朝までの気象状況や今後の予想について引継ぎを受けます。

9:10 打ち合わせ

その日の予定や防災対応について、气象台内全体で打ち合わせを行います。

9:30 観測データ監視等

観測データに異常がないか確認します。誤観測が疑われる場合には、観測機器を確認し、必要に応じてデータ修正や障害対応を実施します。また、予報官の補助として、市町や報道機関、一般の方からの天気に関する問合せの対応等を行います。

12:00 昼休み

12時から13時までは昼休みです。

13:00 観測データ監視等

引き続き、観測データの監視や天気図解析等を行います。また、気象観測機器の保守点検の計画や準備、出前講座や防災イベントの準備等の業務も行います。

15:00 予報打ち合わせ

現在の気象状況や今後の予想について气象台内で協議し、天気予報を発表します。また、必要に応じて注意報・警報を発表します。

17:15 退庁

宿直者(または夜勤者)に引継ぎを行い退庁します。

① 現在はどうのような仕事をされていますか？

地方气象台では、気温、湿度、降水量、風向風速、視程などを観測しています。これらのデータは、日々の天気予報や注意報・警報などの防災情報の発表、産業や研究などに利用されており、自然災害の軽減、交通安全の確保、産業の発展などに役立てられています。気象状況を適切に観測し、高品質の観測データを提供できるように、主に気象観測機器の保守点検や露場(気象観測を実施している場所)の環境整備、観測データの品質管理等を行っています。

② 大学で専攻したことがどのように生かされていますか？

大学では地球科学を専攻し、主に流体力学について学んでいました。大学時代に学んだ流体力学の知識は現在でも役立っています。また、物理学を専攻していない方でも初年度の研修で学ぶことができるので安心してください。

③ どのような仕事が印象に残っていますか？

やりがいを強く感じたのは、入庁1年目の大雨対応です。夜勤に入り、警報・気象情報発表の補助を行いました。特に、土砂災害警戒情報の発表作業を行った際には、発信後すぐにテレビで放送され、气象台が発信する情報の重みを改めて感じました。自分が作成した情報が多くの人々に届くことを肌で感じたのを覚えています。

④ 国家公務員志望者へのメッセージをお願いします！

気象庁では日々の天気予報や注意報・警報の発表、防災知識の普及啓発活動等、国民の皆様にとって身近で、自然災害の危険から命を守る情報を発信する重要な仕事をしています。少しでも興味を持った方は是非、气象台の説明会に参加してみてください！